

---

# ボクって変ですか？

本上 ひろと

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ボクって変ですか？

### 【Nコード】

N5466B

### 【作者名】

本上 ひると

### 【あらすじ】

平凡な日々を平凡にすごしてきた21歳の大学生。そんな普通人間のボクが好きになったのは…

その日はボクにとって全く平凡な1日になるはずだった。なぜなら、この21年間、平凡じゃない日なんてなかったから。普通のの中の普通。それ以上でもそれ以下でもない。

サラリーマンと主婦の間に産まれた子供。貧乏じゃないけど、金持ちではない。

中堅の高校を卒業し、そのまま都内の大学に入学。

ボクは外見的にも性格的にも、女の子を惹きつけるようなものは何一つ持っていないと思うけど、恋人はちゃんとした。キスもしてればセックスもした。

ボクは殻に閉じこもっているわけではないんだ、例えば最近の引きこもり君たちみないな部類では全くないんだ。

普通の21歳の大学生だ。

そしてボクは恋をした。今までの恋愛とはくらべものにならないくらいだね。

相手は11歳の小学生だけど。

やっぱりヤベーのかな。

っーかボクってロリコン？

というより犯罪？

彼女は実に魅力的だった。短くて艶のある髪、大きな瞳、白い肌、赤いランドセル。

恋愛に年の差なんて関係ないって人はいっぱいいると思うけど、実際のところ、さすがに小学生はまずいんかな。

例えば、ボクとその彼女が手をつないで歩いている。

知らない人から見ればただの兄妹だろうけど、ボクの事を知ってる人が見たらどうゆう風を感じるかなって。

ボクが客観的に見たら、やっぱり引いちゃうよね。

うわーこいつ何考えてんだらうって。

いや、この子はいとこだよ。って言っちゃえば、なんてことないかもしれない。

真実を隠してしまえばね。

それが、他人の白い目を全く気にしない人間になっってしまうか。

なんで好きになっちゃったのって聞かれるかもしれないね。

そしたらボクは正直に、いかに彼女が魅力的でボクの心がときめいたかを説明するだろう。

あるいは、よくわかんない。とか言っでごまかすかもしれないな。

きっと大半の人は分かってはくれないからね。

彼女がボクの恋人になったら、どんな付き合いがまっているんだろう。

彼女に勉強を教えてあげたり、一緒に遊園地や映画館に行く。もちろん喫茶店にも。

しばらくして彼女はボクが一人暮らしであることを知り、ボクのアパートにやってくる。

そして彼女はボクにクッキーを焼いてくれる。それを食べながら2人でテレビゲームをして過ごす。

ボクらはとても楽しくなり、いっぱい笑っている。

ボクはふと彼女の頭を撫でる。

彼女はなつっこい子犬みたいにボクに寄り添ってくる。

ボクは彼女の白いキレイなほっぺにやさしくキスをした。

彼女は顔を真っ赤にして照れ始める。

今度は彼女の唇にキスをする。

彼女はボクのことを好いている。

潤んだ目でボクを見つめ、算数の解けない問題にでも出くわしたかのような表情をする。きつとこんな風にボクらはキスを始めるんだと思う。

じゃあこの先は？

やっぱり犯罪なんですか？

彼女とセックスがしたいなんてことを打ち明けたら、ボクのことを変なヤツって思いますよね？

実際のところ、ボクはやってしまうのではないかと思うんだよね、セックスってやつを。

まあ彼女の考えは今では考えないとして。

こーゆうのってやっぱり胸に秘めといた方がいいのかな。

そしてボクは同年代の女性と付き合って、キスをして、セックスをすればいいのかな。

いつその事彼女をさらってしまおうかなって、最近の犯罪者みたいな事が頭をよぎる。

おいおい、ボクはそんなヤツらとは違う。

ボクだけは。

ただ好きなだけなんだ。

誰か言ってください。

大きな声で叫んで下さい。

みんながわかるように。

ボクが変じゃないってこと。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5466b/>

---

ボクって変ですか？

2011年10月3日02時40分発行